

令和 6 年度 地域を志向した研究 成果報告書

テーマ	一次救命救急技術の教育普及による地域医療向上				
研究 組 織	代表者	所属・職	薬学部・講師	氏名	刀坂 泰史
	連 携 研 究 者	所属・職	氏名	所属・職	氏名
		薬学部・教授	森本 達也	大阪青山大学 健康 科学部・教授	野々木 宏
		薬学部・准教授	窪田 辰政	薬学部・助教	浜辺 俊秀
		薬学部・准教授	柏倉 康治	順天堂大学・教授	南 彰
		静岡厚生病院	豊島 敏弘	富士市中央消防署	渡辺 一明
		薬学部・講師	砂川 陽一	名城大学・准教授	黒羽子 孝太
研究の目的、 内容、方法、 研究成果、 今後の課題等	<p>[研究目的] 本教育プログラムの課題として早期学年での教育の向上と、BLSプログラムを修了した学生が地域における指導的役割を担っていくことが重要である。本申請研究では新ガイドラインに対応する一次救命救急教育システムの確立と地域への普及を目的とする。</p> <p>[研究内容] 薬学科1,5年生に対する一般的な技術教育に加えて、世界的な標準技術を学ぶAHA-BLSコースを開講し、学生に受講してもらおう。本システムの確立により、地域医療へ貢献できる人材教育システムの確立が期待される。</p> <p>[研究成果] 本研究では、学部低学年を対象とした心肺蘇生技術講習会を開催した。薬学部の1年生全員を対象にして、胸骨圧迫とAEDの使用方法について実際に行っている動画を見ながら説明した。提出されたレポートでは救命救急への意識と知識向上につながっていることがわかる。さらに薬学科5年生を対象としてAHAハートセイバーコースの動画を視聴しながら技術と知識について講習会を開催し、技術と知識を習得した。さらに学内のインストラクターの指導のもと、医療従事者向けの専門的なコースであるAHA-BLSコースを開催し、12名の学生が1日かけて実技と知識を習得した。12名はAHA-BLSコースを修了し、国際ライセンスを取得できた。</p> <p>[今後の課題] 本コース開講の経験も積み重なってきて、BLSコースでの教育も年々ブラッシュアップできている。長期的な教育維持のため、5年生の受講希望者と学内インストラクターを増やしていくことが今後の課題である。</p>				

令和 7 年 2 月 10 日提出